

身心変容技法研究 第4号

身心変容技法の比較宗教学
—心と体とモノをつなぐワザの総合的研究—
年報

目次

第一部 身心変容技法の光と闇

科学研究年報誌『身心変容技法研究』第四号刊行にあたって——鎌田東二……1

「身心変容技法」としての歌と剣——「身心変容技法研究」試論——鎌田東二……3

「即の体験」から「結びの思想」へ——町田宗鳳……16

キリスト教神秘主義の伝統における身心変容技法——鶴岡賀雄……23

マインドフルネスの彼方へ——井上ウィマラ……33

身心分離とインターフェイスにおける身心変容技法——河合俊雄……45

太極拳と修験道における相互身体性——倉島 哲……52

俳優からパフォーマーへ——グロトフスキの〈否定の道〉——松嶋 健……58

まぶさび、その美学と宗教学——篠原資明……66

無心のケアのために——断片ノート——西平 直……72

虹の身体——永沢 哲……82

倍音声明の音構造——加藤雅裕・安本義正・永沢哲……89

現代韓国におけるシャーマニズムと「癒し」の実態——金 香淑……98

シャーマン神偶の身心変容力——フオのオンゴッド——アルタンジョラー……108

「誰が歌ったのか？」風聞の身体、名もなき実在論（リアリズム）——奄美群島の宮澤賢治——今福龍太……112

〈あわい〉の身心変容技法——安田 登……120

第二部 身心変容のワザ学

身心問題と魂の死後存続——ベルクソンの哲学的思索を手引きにして——棚次正和……132

ジェイムズの心霊研究圈における身心変容問題——津城寛文……143

湯浅泰雄の修行論と身体技法論——桑野 萌……151

自律性療法（心身医学）と後期シェリングの神話と啓示の哲学——濱田 覚……159

賀川豊彦の教育論の背景に関する一考察——トマス・ジョン・ヘイスティングス……168

第三部 身心変容の哲学

自由エネルギー原理に基づく催眠と瞑想の統一理論——乾 敏郎……176

マインドフルネス瞑想と脳のシステム特性——脳波測定による検討——齋木 潤……184

現代日本手技療法——ヴエルテプロ・セラピーの実証的研究へ向けて——藤守 創……191

マインドフルネス瞑想における身体感覚の重要性——心のプロセスと瞑想のプロセスの連結環——藤野正寛……196

現象学から顕現学へ——一九〇年以降フランス哲学における「生ける身体（living body）」の誕生——ヘルナール・アンドリュエ、奥井遼訳……207

From Phenomenology to Eneriology: The birth of living body in the philosophical research in France among 1990——Pr. Bernard Andrieu……216

第四部 身心変容の科学

研究代表者 鎌田東二（京都大学こころの未来研究センター教授／宗教学・民俗学）

研究分担者 鶴岡賀雄（東京大学大学院人文社会系研究科教授／宗教学・キリスト教神秘主義研究）

町田宗鳳（広島大学大学院総合科学府研究科教授／比較宗教学・仏教研究）

棚次正和（京都府立医科大学大学院医学研究科教授／宗教学・祈り研究）

津城寛文（筑波大学大学院哲学・思想専攻教授／宗教学・神道法研究）

井上ウィマラ（高野山大学文学部教授／スピリチュアルケア学・仏教瞑想研究）

倉島 哲（関西学院大学社会学部教授／社会学・身体性）

篠原資明（京都大学大学院人間・環境学研究科教授／臨床心理学・ユング研究）

河合俊雄（京都大学大学院人間・環境学研究科教授／認知科学）

齋木 潤（京都大学こころの未来研究センター教授／臨床心理学・ユング研究）

乾 敏郎（京都大学大学院情報学研究科教授／認知神経科学）

【連携研究者】

高橋英彦（京都大学大学院医学研究科准教授／精神医学・脳科学）

吉川左紀子（京都大学こころの未来研究センター長／認知心理学）

西平 直（京都大学大学院教育学研究科教授／教育人間学・教育哲学・臨床教育学）

やまだようこ（京都大学名誉教授・立命館大学特別招聘教授／発達心理学・質的研究）

小倉紀蔵（京都大学大学院人間・環境学研究科教授／韓国儒教研究）

中川吉晴（同志社大学社会学部教授／ホリスティック教育哲学・臨床教育学）

熊谷誠慈（京都大学こころの未来研究センター上席こころ学研究部門准教授／仏教学・アータン仏教・ボン教研究）

永澤 哲（京都大学大学院総合社会学部准教授／宗教学・チベット仏教）

村川治彦（関西大学人間健康学部人間健康学科教授／身体教育学・応用健康科学）

河村博重（観世流能楽師・京都造形芸術大学客員教授）

中野民夫（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授／ソシアル・ペーシジョン・ファシリテーション論）

木村はるみ（山梨大学大学院教育学研究科准教授／舞踊学）

小西賢吾（京都大学こころの未来研究センター科研究員／文化人類学）

松嶋 健（日本学術振興会特別研究員・国立民族学博物館外来研究員）

須田郡司（写真家／京都造形芸術大学非常勤講師／石の聖地研究）

金 香淑（目白大学外国語学部准教授／文化人類学・韓国シャーマニズム研究・比較文化論）

アルタンジョラー（京都大学こころの未来研究センターワザ学共同研究員／文化人類学・モンゴルシャーマニズム研究）

山田真由美（作曲家・音楽家／音ハメ研究）

藤守 創（パリ大学科学史科学哲学研究所博士課程 神戸大学大学院医学研究科／統合医療の認識論的研究・医療哲学）

松田和郎（京都大学学際融合教育研究推進センター 特定講師 医師／神経解剖学・脳神経外科学）

古谷寛治（京都大学放射線生物学研究センター 講師／分子生物学）

秋丸貴貴（美術史家）

トマス・ジョン・ヘイスティングス（日本国際基督教大学財団主任研究員／教育学・賀川豊彦研究）

勝又公仁彦（京都造形芸術大学専任講師・写真家）

奥井 遼（京都大学こころの未来研究センター上席こころ学研究部門特定研究員／臨床教育学・身体論・淡路島人形浄瑠璃研究）

研究会の構成メンバー

編集後記

❖この四年、じつにおもしろい「身心変容」を伴う「身心変容技法」に従事することができた。研究分担者、研究協力者、HPや編集スタッフ、事務担当のみなさんに心から感謝したい。研究は多くの実りがあり、次につながるものだ。そのことは、本「身心変容技法研究」通算四号の内容を確認していただければ一目瞭然である。次のステージがどのようなものとなるか、今からワクワクしている。本当にありがとうございました。（鎌田東行）

❖身心変容技法研究会の四年目、まさに序破急の「急」であったと感じます。舞台も、見所も、裏方も大わらわ。たつぷりと「探まれ」た後にふと振り返ると、研究会を「建立」して来られた先生方とのご縁が深く大きく広がっていることに感謝の念がたえません。末席に加えていただきましたことを糧に、遠い新天地で精進してまいります。（奥井遼）

❖身心変容技法研究会に、本年度は研究員として関わらせていただき、感謝の念でいっぱいです。この研究会は、参加者がリアルタイムで身心変容していくという点でも希有なものでした。来年度から新天地での仕事が続いていますが、「縁の行者」こと鎌田先生がつないでくださった縁を大切に、おもしろい研究と実践に邁進したいと思えます。刺激的なご発表と論考を通じて常に身心を揺さぶってくださったすべての先生方に、心よりお礼申し上げます。（小西賢吾）

❖本誌の編集は作業としてはなかなかの荒行なのですが、新しい智が立ち上がっていくのにならあわせていただく喜びがあります。本号も大活躍していただいた梁根千夏子さんとともに、その喜びに浸りながら編集を進めることができました。梁根さん、そして組版担当の東浩美さん、デザインの尾崎閑也さん、ありがとうございました。なお、「大荒行シンポジウム」は姉妹誌の「モノ学 感覚価値研究」第九号掲載となりました。併せてお読みください。（原 章）

身心変容技法研究 第4号

科研基盤研究(A)
「身心変容技法の比較宗教学——心と体とモノをつなぐワザの総合的研究」
(課題番号23242006)

発行日 二〇一五年三月三十一日
発行 京都大学こころの未来研究センター 身心変容技法研究会
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町4-6

京都大学福盛財団記念館内 電話075-753-9670
http://waza.sophia.cocacn.jp/

表紙画像 比良山麓明王院三ノ滝での滝行 撮影：小林宏亮
編集 編集工房レイヴン 原 章
デザイン 鷺草デザイン事務所 尾崎閑也
印刷 NPCOコーポレーション